

1. 調査結果からみる栃木の子ども・学校・学級

(分野：教育分野)

講 師：丸山 剛史

実施日・時間：7月29日(金) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス
7号館1階

ティーチングcommons

対 象 教 員：小学校・中学校

定 員：25名

準 備 等：特にありません。

概 要：子どもの豊かな生活を意識した、生活・遊び、特別活動、学級経営に関する独自調査(子どもの遊びの希望と実際、子どもの労働・職業選択に対する意識、小・中学生のテスト観、合唱コンクール、教室掲示など)の結果がたまってきました。調査協力への御礼の意味で一度、先生方の前で報告し、ご意見・ご感想をいただきたいと考えております。併せてグループ協議により学校、校種を越えた交流の機会を設けます。

2. 子ども理解と授業力向上を目指して①

－子どもたちが科学を楽しめる工夫や配慮－

－発育期の運動発達－

(分野：理科・保健体育)

講 師：出口明子・加藤謙一

実施日・時間：7月29日(金) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：24名

準 備 等：はさみ 体育館シューズ

概 要：本講座は、子ども理解と授業力向上を目指し、共同教育学部附属特別支援学校で学部教員2名により開講いたします。

前半は、科学の不思議について、遊びを通して学べる教材を扱います。ワークショップ形式で体験しながら、子どもたちが科学を楽しめる工夫や配慮について、一緒に考えていきます。

後半は、発育期の運動発達の特徴を解説し、現代の問題点とその解決の手がかりを探ります。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。簡単な運動遊びを紹介しながら動きを高める方法についても扱います。講義だけでなく、実技(運動遊び)も予定しています。内容はハードではないのでご安心下さい！

3. コロナ禍における調理実習の工夫

(分野：家政)

講師：カバリエロ 優子・赤塚 朋子

実施日・時間：8月1日(月) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟2階調理実習室

対象教員：小学校教員、中学・高校の家庭科教員

定員：20名

準備等：・エプロン、三角巾、タオル

・調理実習の実践例や工夫を共有する場を設けますので、考えてきてくださるようお願いいたします。

概要：家庭科は、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする態度等を育成することを基本的な考えとしており、そのためには、実践的・体験的な活動が不可欠です。

コロナ禍においても、対面・オンラインによる調理実習を効果的に行うためにはどのような取り組みができるかを考えていきます。

セミナーでは、感染対策を行いながら楽しく行える調理実習も行います(状況によっては中止の可能性もあります)。

その他：コロナの感染状況により、活動内容変更の可能性もあります。

4. 教師も楽しむ理科実験

(分野：理科教育)

講師：南 伸昌

実施日・時間：8月1日(月) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階 理科教育学学生実験室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：20名

準備等：白衣、もしくは実験用着衣。安全メガネ。ハサミ。(何れも必要に応じて貸出有り)

概要：実験や工作を中心に、下記から選んだ内容を、参加者やその時の状況に応じて扱う予定です。

- ・ 燃焼：炎の性質／燃える条件／固体、液体、気体の燃え方
／水素の発生と性質の確認
- ・ 化学電池：ダニエル電池における電気の発生と物質の消費との関係
- ・ ICTを活用した相互作用型演示実験講義の紹介(運動、力)
- ・ 電気、磁石：発電、蓄電、利用／超簡単モーターのしくみ
- ・ 光(主に屈折)：陽炎／全反射／虹の仕組み

その他：実験に適した楽な格好で来てください。(作業着、ジャージ可。)
実験の希望がありましたら、申込時にお知らせください。

5. 子ども理解と授業力向上を目指して②

－特別支援教育における ICT 活用－

(分野：特別支援教育)

講 師：齋藤大地

実施日・時間：8月2日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味
関心のある方

定 員：16名

準 備 等：講座内で、先生方自身の ICT を利活用した実践を共有する時間をとりたいと考えて
おります。成功事例もそうでない事例も共有したいと思しますので、講座の前まで
にこれまでのご実践について振り返る時間を各自設けてください。

概 要：本講座は、子ども理解と授業力向上を目指し、共同教育学部附属特別支援学校で
学部教員により開講いたします。

1人1台端末時代の到来により、特別支援教育においてもますます ICT の利活用が求
められています。本講座では、知的障害や発達障害のある子に対する ICT の利活用の
基礎基本について学んだ後、主に知的障害特別支援学校における複数の事例をご紹介
します。また、先生方に1人1台の iPad を貸し出し、具体的な演習を交えながら GIGA
スクール時代に対応した ICT の利活用について実践的に学んでいただきます。複数名
のスタッフで運営し、ICT が苦手とお感じの方にも個別のサポートを致しますので、
安心してご参加ください。

6. 数学的に考える力を育てる授業づくり：

数学的な見方・考え方の成長を目指して

(分野：数学教育)

講 師：日野圭子

実施日・時間：8月2日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階教職大学院講義室

対 象 教 員：小学校・中学校数学科教員

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：算数・数学科において、数学的に考える力の育成は、益々その重要性が高まっ
ている。本講座では、数学的な見方・考え方に視点を当てて、その捉え方や内容の系統
性との関連、授業での教師の役割などを考える。その際、具体的な授業データも示し、
子どもの問題解決活動をどのように解釈したり、促したりできるかについても考察す
る。

本講座は、グループワーク等を取り入れながら進めていく。話し合いを通して、自身
の授業について振り返り、視野を広げる機会となるようにしたい。

そ の 他：教職大学院の「算数・数学授業デザイン論」とのコラボ授業です。教職大学院の
院生と一緒に学びます。

7. 日英語比較と英語文学の知見を活かした英語の授業づくり

(分野：英語分野)

講 師：岩崎宏之・五十嵐奈央

実施日・時間：8月2日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟3階 8A33教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：前半は、個々の音から文という大きなレベルに至るまで、英語の文法的特徴を考察していきます。日本語との比較を通じて、身近な存在である言語について考えることの面白さを体感していただければと思います。後半は、英語で書かれた児童文学作品(特に詩)の読み方を学び、授業に活用できる作品の選択・指導法を考えます。英語文学の理解に必要な視点・背景知識に関する講義の他、作品解釈に関するディスカッションも行う予定です。

8. 言語活動を軸にした教育内容・方法論

(分野：教職大学院)

講 師：青柳 宏

実施日・時間：8月3日(水) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階教職大学院講義室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：10名

準 備 等：特になし

概 要：詩、絵本等を教材にしながら、広く人の生き方、自然との係わり等々について、対話を広げ、深めていく「言語活動」を行いたいと考えています。教職大学院生による模擬授業を体験してもらう時間も設けたいと考えています。学校教育の中では、道徳科、総合的学習の時間の内容・方法に係わるセミナーですが、学校における様々な実践(教科、学活、児童生徒指導・他)を対話的に展開していくための方法を、経験的に学ぶことが出来ると思います。「大人(教師)が対話できること」が、対話的授業をしていくためには一番求められています。それを経験的に学べる時間にしたいと考えています。

9. 学校改革の実際と課題

－SWOT/クロス分析を手がかりに学校の力を掘り起こそう－

(分野：教職大学院)

講 師：小野瀬 善行

実施日・時間：8月5日（金） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階教職大学院講義室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：10名

準 備 等：特になし

概 要：学校を取り巻く多様な課題に、組織的に対応していく重要性がますます高まっています。そのため、学校という組織やその構成員である教師個人の力を掘り起こすことが従来にも増して求められています。さらに言えば適切な現状把握と組織や個人にとって魅力的な成長の姿を共有することが学校に求められているのです。そのために本講座では SWOT/クロス分析を手がかりとした学校改革の実際について探究していきます。

10. 障がいの重い子どもと係わり合う教育

－実践事例から読みとく特別支援教育－

(分野：特別支援教育／教職大学院)

講 師：岡澤慎一

実施日・時間：8月8日（月） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：50名

準 備 等：特になし

概 要：障害の重い子どもとの教育実践から、教育の本質について学ぶ意志のある人を対象として、重複障害教育における実践研究の現状と課題について、事例研究論文や映像資料を用いながら解説したり、受講生相互に協議したりします。今回は、実践事例の蓄積が少なく、実践的見識の共有が容易ではない、超重症児との教育的係わり合いを検討します。超重症児とは、継続的で濃厚な医療的ケアを必要とし、重度の肢体不自由がある子どもです。

11. ICT を活用して地球を探究する

(分野：理科分野)

講 師：瀧本家康

実施日・時間：8月9日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス

8号館A棟2階8A21教室及び8号館C棟3階基礎地学実験室

対 象 教 員：中学校・高等学校

定 員：18名

準 備 等：PC, タブレット, スマートフォン (モバイルwifi などがあると便利です)

概 要：理科の他の分野(物理・化学・生物)と異なり、地学は教室内で実物の観察や実験が難しい科目です。しかし、近年ではそれらをICTを用いることでカバーできたり、探究的な活動を行ったりすることができるようにもなりました。この講習では、地学分野の中でも最も基本となる「地球」についてICT(PCやタブレット, スマートフォン等)を活用した探究活動を実際に行います。参加に当たっては、お手持ちのスマートフォンを活用していただくのが一番ですが、こちらでもタブレット等を一定数準備します。

そ の 他：動きやすい服装・靴等をお願いします。

12. 幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう

(分野：特別支援教育分野)

講 師：石川由美子・齋藤大地・福田奏子

実施日・時間：8月22日(月) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングcommons

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味関心のある方

定 員：20名

準 備 等：参加者ご自身が印象深く心に残している教育体験エピソードがある方はメモ程度に当日ご持参ください。

概 要：幼児・児童・生徒が“この今”自身の手持ちの力を使って充実して生きることができる環境(対象としての人やモノ)を教育の場に整え共に生き合う。その先にやっと“できる(自立)”を基盤とした子ども自身の主体的な活動の可能性がみえてくるかもしれないのであって、“できるようにさせる”ための教育目標と手段が“自立”の前に敷かれる唯一の文脈(状況)ではないだろう。ひとりひとりの手持ちの力で“この今”を生き合うことができる教育という視点から、教育を考える対話的セミナーを開催します。その時間その場所で出会った主催者と参加者だから創造できる時間と教育の可能性に興味のある方の参加をお待ちしています。